



波宜亭倶楽部代表

野本文幸さん

城東町四丁目・56歳

「根っこ」見つめ直そう

明治から大正にかけて、現在のるなばあく敷地内にあった茶店を題材にし

て、「波宜亭」という詩を朔太郎が残しています。この周辺は臨江閣やその南側のひょう

たん池、フジ棚など、古い歴史を今に伝える貴重な場所。波宜亭を復元することを核に、長い年月のうちに培われた豊かな文化を再発見しながら、地域の活性化や発展に寄与するため取り組んでいます。

「郷土望景詩」の連続講座、マンドリンとギターによる臨江閣での催し、朔太郎ゆかりの地を訪ねる街中ツアーなども実施してきました。

◇ 大学時代以外はずっと本市

で暮らしていますが、こうした前橋にとって大切な場所は市民共有の財産だと思います。後世に長く残していかなければならないのではないのでしょうか。

◇ 今、形をとどめていないくても、朔太郎の足跡を残している場所は市内に多くあるんです。現在につながるゆかりの場所を、これからの街づくりを生かさないだろうか、いろいろな職業のメンバー百二十人ほどで研究を続け、市民の間に根付かせていきたいと活動しています。

市役所の住所は〒371-8601 前橋市大手町二丁目12-1です



②前橋文学館



①萩原朔太郎記念館



③「帰郷」詩碑



④「利根の松原」詩碑



⑤「広瀬川」詩碑



⑥「新前橋駅」詩碑

「水と緑と詩のまち前橋」には萩原朔太郎の足跡がいっぱい。記念館や生家跡碑、詩碑など、市内中心部を流れる利根川、広瀬川の風情とともに詩情豊かな景観を醸し出しています。また、朔太郎研究の拠点である前橋文学館には自筆原稿などの資料も。偉大な詩人の姿を思い描きながら、散策してみませんか。

朔太郎マップ

詩碑やゆかりの場所を紹介します

